



LED BATTERY CHARGE INDICATOR HARNESS (LEDバッテリー充電インジケータハーネス)

概要

キット番号

66000005

モデル

3ピンバッテリー充電このハーネスは、すべてのハーレーダビッドソン® 装備モデルのハーレーダビッドソンの充電を簡単に接続ができ、装備車に12Vのバッテリーは、装備車黒のクイック適切充電を維持するため、バッテリーをコネクタの接続を外します。バッテリーの充電が必要な場合、LEDインジケータランプが赤く点滅します。インジケータランプの状態を定期的に監視してください。バッテリー電圧が3Vを下回ると、インジケータランプはもう点滅しません。

追加パーツ

注記

交換するヒューズは、適正な種類で適切なアンペア数のものを使用してください。誤ったヒューズを使用すると、電気系統に損傷を与える可能性があります。(00222a)

注記

7.5AのATO型自動車用ヒューズ(交換用)は、お近くのお店で購入できます。

操作

- ・バッテリーの充電が不十分な場合、接続して60秒後に、ハーネスのバッテリー低電圧インジケータランプがオンになります。
- ・ハーネスを接続するには、最寄りのハーレーダビッドソン® チャージャーの電源はオフになっていること、バッテリーの低電圧のオイルプレッシャーインジケータランプ。
- ・車両のイグニッションスイッチをオンしても60秒以内に始動しない場合は、ヘッドランプまたはラジオからの電流がインジケータランプを点灯させている場合があります。車両を始動するとインジケータランプがオフになります。

取り付け

注記

ハーレーダビッドソン社の車両は長年にわたって、さまざまなバッテリーターミナルと接続用金具を使用してきました。「図1」を参照して、お使いのバッテリーに適合するターミナルと金具のタイプを決定します。

インジケータランプは取り付けした時に初め点滅する場合があります。これは正常です。ランプの取り付けが完了した後も点滅が続く場合は、バッテリーをハーレーダビッドソンの純正の充電器に接続します。

バッテリーターミナルに接続するときや接続を外すときには、全モデルについて次の手順に従ってください。

▲警告

誤って車両が始動すると、死亡事故や重傷事故を引き起こすおそれがあるため、バッテリーケーブル(マイナス(-)ケーブルが先)を外してから作業を開始してください。(00307a)

▲警告

マイナス(-)バッテリーケーブルを先に取り外します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00049a)

1. 「図1」を参照してください。オーナーズマニュアルの説明に従って、シートやその他の必要なコンポーネント(サイドカバー等)を外し、バッテリーに手が届くようにします。
2. お持ちのモデルの図1で適切な表示を参照してください。バッテリーのマイナス(-)ターミナルから金具アッセンブリを取り外すことにより、バッテリーのマイナスターミナルの接続を断ちます。
3. バッテリーのプラス(+)ターミナルから金具アッセンブリを取り外すことにより、バッテリーのプラスターミナルの接続を断ちます。
4. ワイヤブラシか紙やすりかいずれかを使って、バッテリーターミナルとケーブルコネクタにできた酸化膜をはぐ。

注記

2006年以降のFXD (Dyna)モデル: バッテリー充電ハーネスは、バッテリーに接続する前に、バッテリートレイの背面を通して配線する必要があります。詳細は「ハーネスの取り回し」セクションを参照してください。

5. ハーレーダビッドソンのElectrical Contact Lubricant (電装コンタクトリブリカント) (部品番号99861-02)、ワセリン、その他の腐食遅延剤のいずれかをバッテリーターミナル、ケーブルコネクタ、バッテリー充電ハーネスリングターミナル、ウェザーシールドキャップの下にあるコネクタに薄く塗ります。

▲警告

プラス(+)側のバッテリーケーブルを先に接続します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00068a)

6. 分解に使用する図1での表示を参照してください。バッテリー充電ハーネスのプラス(赤)のリード線を、図に示す順序でプラス(+)側のバッテリーポストに取り付けます。オーナーズマニュアルに示された値でプラス(+)ターミナルポストのボルトを締め付けます。
7. バッテリー充電ハーネスのマイナス(黒)のリード線を、図に示す順序でマイナス(-)側のバッテリーポストに取り付けます。オーナーズマニュアルに示された値でマイナス(-)ターミナルポストのボルトを締め付けます。

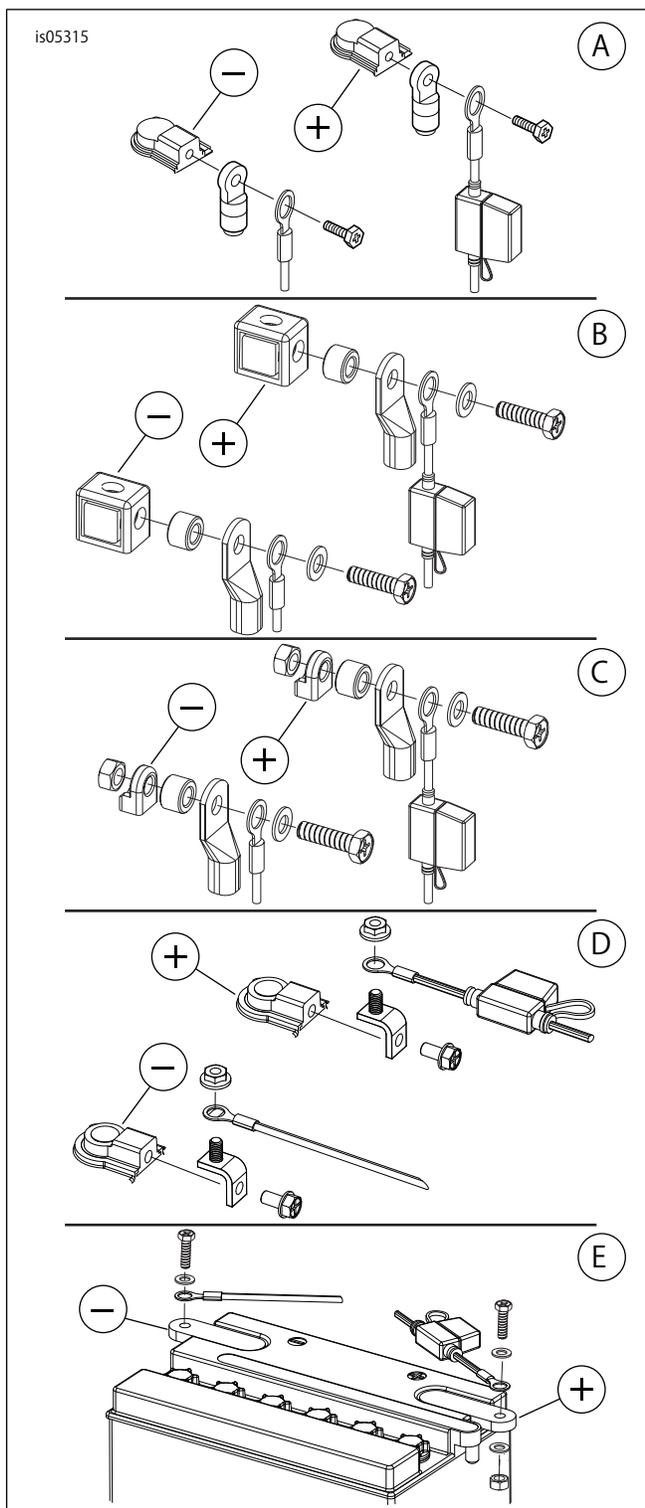


図1。バッテリー接続タイプ

ハーネスの取り回し

注記

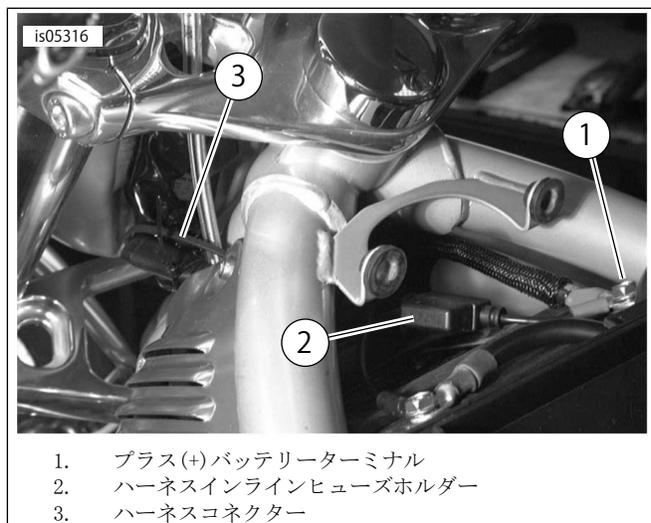
取り回しの際には、ワイヤーやハーネスが可動パーツ、熱源および圧力のかかる点に接していないことを確認し、ワイヤーの損傷またはショートを回避してください。ワイヤーの損傷またはショートが発生すると、電気系統へ損傷を与えるおそれがあります。(00579b)

次のサブセクションでは、多くのモデルでの正しいハーネスの取り回しを説明します。特定のアプリケーションが示されていなくても、確実に一般的なガイドラインに従ってください。

- ・ ハーネスエンドは、フューエルタンクのベントホースには結束しないでください。
- ・ ハーネスを挟み込むか切断するか、いずれかのおそれのある車両部品は使わないでください。
- ・ ハーネスは、発熱する車両部品からは離してください。
- ・ ケーブルのたるみは、ぴんと張って、見えないように収めてください。
- ・ ハーネスは、ハーレーダビッドソン正規販売網店で購入できるケーブルストラップ(部品番号10006)で固定してください。

VRSC (V-Rod) モデル

1. 「図2」を参照してください。左上のフレームチューブに沿って、車両のフロント方向にバッテリーハーネスコネクタ(3)を取り回します。バッテリーの前のスペースにインラインヒューズ(2)をきれいに押し込みます。
2. 続けてハーネスコネクタを車両の前面およびベントカバーの裏側に取り回します。ハーネスをケーブルストラップで固定し、アクセスしやすいようにコネクタをカバーから飛び出させておきます。ケーブルストラップの余分な部分を切り取ります。
3. ステップ4の全モデルに進みます。

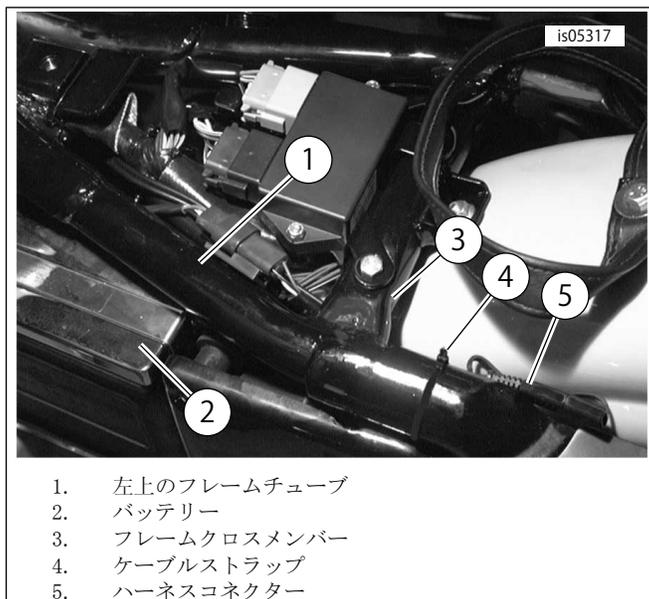


1. プラス(+)バッテリーターミナル
2. ハーネスインラインヒューズホルダー
3. ハーネスコネクタ

図2。VRSCバッテリーハーネスの取り回し

2003年以前のXL (Sportster) モデル

1. 「図3」を参照してください。左上のフレームチューブ(1)に沿って、車両のリア方向にバッテリーハーネスコネクタ(5)を取り回します。バッテリー(2)側面のスペースにインラインヒューズをきれいに押し込みます。
2. 続けてハーネスコネクタをフレームクロスメンバー(3)の下に取り回し、左フレームレールとフェンダーの間に戻します。ケーブルストラップ(4)を使用して、左後部のフレームチューブの内側にコネクタを固定します。ケーブルストラップの余分な部分を切り取ります。
3. ステップ4の全モデルに進みます。

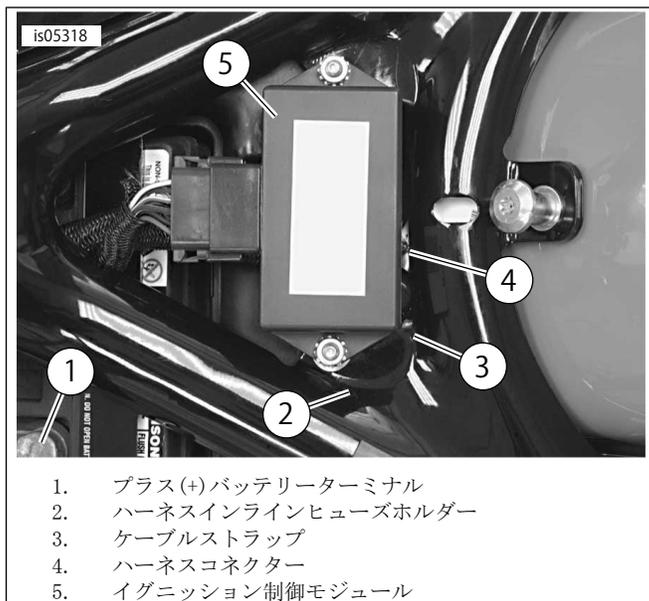


1. 左上のフレームチューブ
2. バッテリー
3. フレームクロスメンバー
4. ケーブルストラップ
5. ハーネスコネクタ

図3。XL (Sportster) バッテリーハーネスの取り回し(2003年以前のモデル)

2004年以降のXL (Sportster) モデル

1. 「図4」を参照してください。左上のフレームチューブに沿って、車両のリア方向にバッテリーハーネスコネクタ(4)を取り回します。バッテリー側面のスペースにインラインヒューズをきれいに押し込みます。
2. メイン電気系統ハーネスのB+ (バッテリープラス) コネクタ(未使用灰色コネクタが付いた赤色配線)を見つけ、シートの下のイグニッション制御モジュール(5)の下に取り回します。B+コネクタの近くにバッテリー充電ハーネスコネクタをケーブルストラップ(3)で固定します。ケーブルストラップの余分な部分を切り取ります。
3. ステップ4の全モデルに進みます。

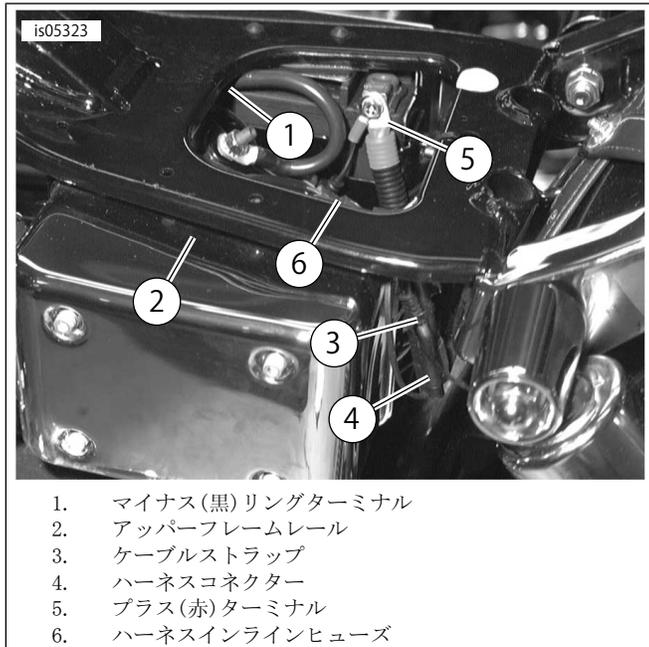


1. プラス(+)バッテリーターミナル
2. ハーネスインラインヒューズホルダー
3. ケーブルストラップ
4. ハーネスコネクタ
5. イグニッション制御モジュール

図4。XL (Sportster) バッテリーハーネスの取り回し(2004年以降のモデル)

2005年以前のFXD (Dyna) モデル

- 「図5」を参照してください。フレームの左(反対)側に、ハーネスコネクタ(4)を取り回します。バッテリーのネスティングエリアにインラインヒューズ(6)をきれいに押し込みます。



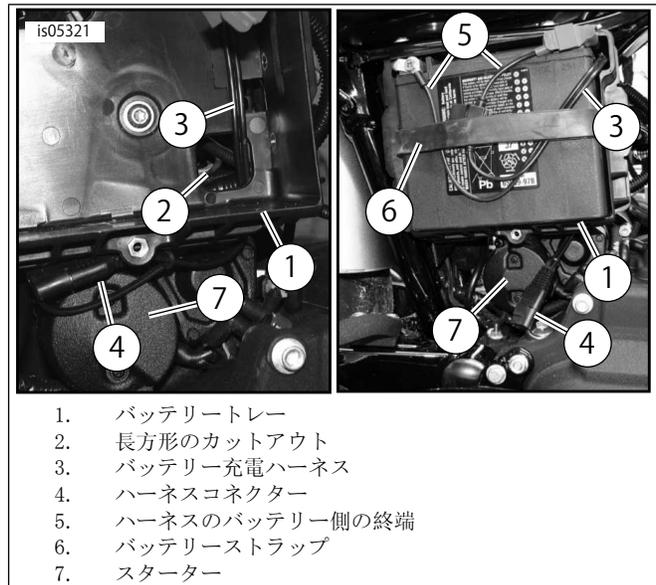
- マイナス(黒)リングターミナル
- アッパーフレームレール
- ケーブルストラップ
- ハーネスコネクタ
- プラス(赤)ターミナル
- ハーネスインラインヒューズ

図5。FXD (Dyna) バッテリーハーネスの取り付け(2005年以前のモデル)

- 続けて左上のフレームパンの下にハーネスコネクタを取り回し、ケーブルストラップ(3)を使用して、図のようにバッテリー充電ハーネスコネクタをベントチューブに固定します。ケーブルストラップの余分な部分を切り取ります。
- ステップ4の全モデルに進みます。

2006年以降のFXD (Dyna) モデル

- 「図6」を参照してください。バッテリー充電ハーネスをバッテリーターミナルに取り付ける前に、次のようにハーネスを取り回します。
 - バッテリー充電ハーネス(3)のコネクタ(4)を、バッテリートレイ(1)の後ろ側の壁の右下にある長方形のカットアウト(2)を通して送り出します。コネクタをバッテリートレイの下側あたりまで持ってきて、それから車両の右側方向に出します。
 - ハーネスのバッテリー側の終端(5)を上方に、トレイの右側の壁とバッテリーの間のスペースにバッテリートレイの内壁にぴったり沿って取り回します。



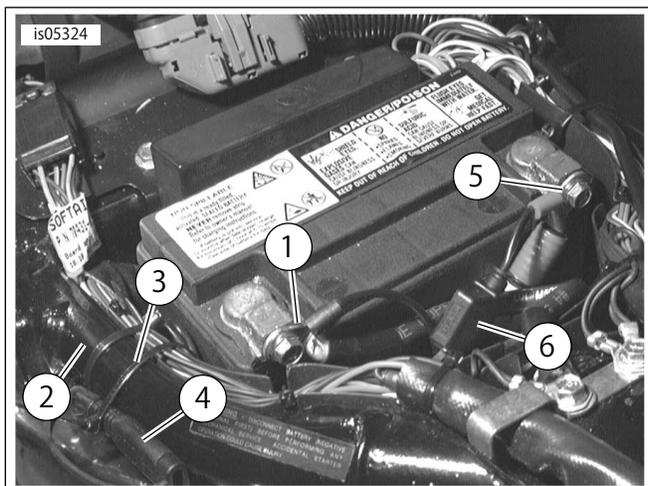
- バッテリートレイ
- 長方形のカットアウト
- バッテリー充電ハーネス
- ハーネスコネクタ
- ハーネスのバッテリー側の終端
- バッテリーストラップ
- スターター

図6。FXD (Dyna) バッテリーハーネスの取り付け(2006年以降のモデル)

- バッテリーをトレイにスライドさせ、バッテリー充電ハーネスを図のように、バッテリーの前面にわたってループさせます。バッテリーとバッテリー充電ハーネスターミナルをステップ5、6、7の取り付け手順に従って接続します。
- バッテリー充電ハーネスをバッテリー前面に対して、滑らかで平坦なループ状に配置します。バッテリーストラップ(6)を取り付け、ワイヤループを所定の位置に保持します。ハーネスのコネクタ側の終端は使用時にアクセスしやすく、使用しない時にはスターター(7)の上押し込めるような位置に設定します。それからストラップの下のループを引っ張ってハーネスの長さを調整し、たるみが無くなるようにします。ステップ4の全モデルに進みます。

FLS/FXC/FXS (Softail) モデル

- 「図7」を参照してください。バッテリーハーネスコネクタ(4)を右側に沿ってバッテリーの背面の方向に取り回します。バッテリーの前のネストに直接インラインヒューズ(6)をきれいに押し込みます。
- ハーネスコネクタを右アッパーフレームレール(2)とオイルタンクの間に取り回します。コネクタの開口部を車両のフロント方向に向けて、ケーブルストラップ(3)を使用して、バッテリー充電ハーネスをフレームレールの内側と外側の両方に固定します。ケーブルストラップの余分な部分を切り取ります。
- ステップ4の全モデルに進みます。

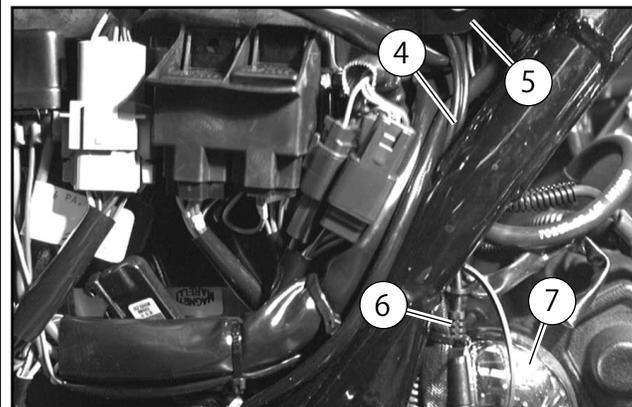
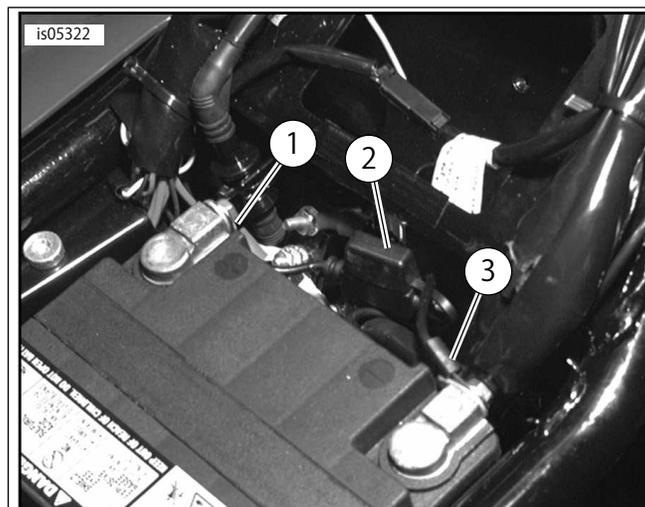


1. マイナス(黒)リングターミナル
2. 右上フレームレール
3. ケーブルストラップ
4. ハーネスコネクタ
5. プラス(赤)ターミナル
6. ハーネスインラインヒューズ

図7。FLS/FXS (Softail) バッテリーハーネスの取り回し

FL (Touring) モデル

1. 「図8」を参照してください。ハーネスコネクタ(6)をバッテリー前面に沿って下方に、それから右側に向けて、右フレームチューブとバッテリーボックス(5)の間の空間の方向に取り回します。
2. バッテリーの前のネストに直接インラインヒューズ(2)をきれいに押し込みます。ハーネスコネクタをバッテリーボックスの右側の下に引き出して、続いてフレームシートメタル(4)の穴またはスロットを通して下げ、オイル注入(7)ディップスティックのちょうど上に取り回します。ケーブルストラップを使用して、コネクタをフレームチューブの近くに垂直に通っている既存のハーネスのコンジットに固定します。ケーブルストラップの余分な部分を切り取ります。
3. ステップ4の全モデルに進みます。



1. プラス(赤)リングターミナル
2. ハーネスインラインヒューズ
3. マイナス(黒)リングターミナル
4. フレーム内の方へのハーネスの取り回し
5. バッテリーボックス
6. ハーネスコネクタ
7. オイル注入

図8。FL (Touring) バッテリーハーネスの取り回し

全モデル

▲警告

シートを装着したらシートを上につ張り、所定の位置にロックされていることを確認します。シートが緩んでいると、走行中に動いて制御不能となり、死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00070b)

1. オーナーズマニュアルを参照し、所定の説明に従って取り外していたシートとその他のコンポーネントを取り付けます。

使用時

2ピンのバッテリー充電器に接続

「図9a」を参照してください。バッテリー充電器の2ピンコネクタ(2)を、バッテリーハーネスの3ピンコネクタ(1)に接続します。

3ピンのバッテリー充電器に接続

「図9b」を参照してください。バッテリー充電器の3ピンコネクタ(3)を、バッテリーハーネスの3ピンコネクタ(1)に接続します。

バッテリー充電器に接続されていない場合

「図9c」を参照してください。保護キャップ(4)はバッテリーハーネスコネクタ(1)全体を覆うように取り付け、3つのターミナル全てを損傷や腐食から保護しなければなりません。

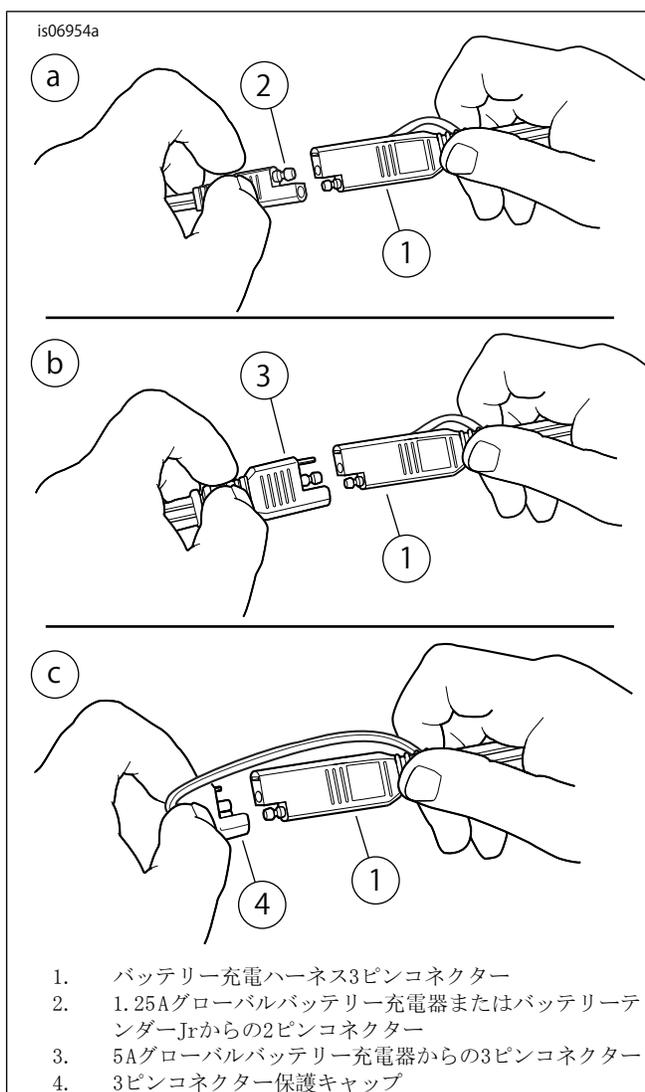


図9。バッテリー充電器への接続



- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. バッテリー充電器コネクタ | 4. マイナスコネクタ |
| 2. 保護カバー | 5. ヒューズカバー |
| 3. プラスコネクタ | 6. LEDインジケータランプ |

図10。バッテリー充電ハーネス